

国際貢献、人材育成で協定

高知大と
AMD A 新たに文化、教育分野

高知大学は14日、国内外の被災地、紛争地で医療や教育関連の支援をするAMD A（アマタ）グループと、国際貢献や人材育成に関する連携協定を結んだ。関係者が同大学で講義をする予定で、学生や教員が同グループの取り組みを視察することも想定している。

アマタグループは、

高知大学は14日、国内の被災地、紛争地などでつくるグループ。岡山県や徳島県など各地の自治体や大学と協定を結んでおり、県内でも高知市や幡豆郡黒潮町などが大規模災害時の支援協定を結んでいる。

高知大医学部は2009年にアマタと医学分野で協定を結び、医師をネパールの病院に

協定書を交わした菅波茂代表（右）と
脇口宏学長（高知市の高知大学）



派遣するなどしている。今回は教育や文化の分野も含む協定で、

全学部が連携の範囲に入る。

高知市曙町2丁目の
朝倉キャンパスで調印

菅波茂代表は「学生に多くの経験をしてもらって、世界に通用する人材を育成したい。教員も自分の研究分野から世界に通用する政策を提言してほしい」とあいさつした。

脇口宏学長は「本物のグローバル化には、その土地の人を知ることが必要。学生が文化や技術を学びに外国に行ける環境ができた。お互いが利用し合いたい」と話していた。

活動の具体的な内容は、今後両者で協議していく。